

入学者選抜企画研究部門の課題

傳野隆一・三瀬敬治

札幌医科大学医療人育成センター 入学者選抜企画研究部門

医療人育成センターは昨年10月に発足しましたが、平成22年度入試の実質的な入試業務が開始されたのは本年の4月からです。これまでは、両学部で独自に入学者を選抜してきました。本年度から、両学部合同の入学者選抜委員会、入学試験委員会で決定するように組織改編が行われ、本学の目的・理念に沿った選抜方法を恒常的に研究・実施することを目的に入学者選抜企画研究部門が設置されました。

この部門の具体的な業務内容は、大きく4つに分けられています¹⁾。

①入学者選抜方法の研究開発

中・長期的視点から、本学の理念に基づき、アドミッションポリシーに沿った学生の選抜方法を研究・開発します。

②入学者選抜の実施

入学試験の実施は、入学者選抜委員会及び入学試験委員会で実施計画書等を作成し、本部門が実施責任者となってとり行います。これまで合格者の決定は、各学部の教授会で審議決定してきましたが、これを廃止し、入学者選抜企画研究部門長及び両学部並びにセンターの入試兼務教員、健康診断部会長、電算処理部会長等を含む入学者選抜委員会で審議し、学長、両学部長並びに医療人育成センター長等で構成する入学試験委員会で合格者を決定します。各教授会では、報告事項としての取り扱いになることが、これまでとは大きく異なる点です。

③入試広報

本学の特徴や入学者選抜の基本理念・アドミッションポリシーを高校および社会に広く知ってもらうための具体的方策を研究し、実施します。これまでも大学広報誌LEAP、オープンキャンパス（医学部1回、保健医療学部2回）、高校訪問、出前講義などを行ってきました。

④入学者選抜方法の評価

面接試験および個別学力試験そのものの在り方や入学時の成績と入学後の評価等の関連性について調査・研究することとなっています。

現在、構成員は、専任教員2名（うち教授1名）の他に、兼任教員として、教養教育研究部門2名、医学部1名及び保健医療学部1名、計4名の兼任教員となっています。平成19年より事務局学務課内に入試室が設けられ、事務職員は4名体制となっています。

平成22年度入試では、医学部に加えて保健医療学部の後期入試が廃止となり、新たに推薦入試が導入されました。入試の枠組みは既に保健医療学部教授会で決定されていましたが、本年4月より具体的作業に入り、11月28日（土）に実施しました。

今年、予期せぬ大事態が起き、入試を控えた高校・大学で対策に苦慮しているのが本年5月にメキシコで発生した新型インフルエンザです。当時は地球の反対側の出来事と思っていましたが、瞬く間に全世界に広がり、日本では水際作戦と称して物々しく検疫が行われたことは皆様ご存じのとおりであります。その後文科省から大学入試における新型インフルエンザ対策が示され、本学としても追試験を行うこととなりました。これにより、学内の教職員の皆様方には多大なご負担をおかけすることになりましたが、総力を挙げて取り組んで頂いていることに感謝申し上げます。大学入試センター試験はこれまで各大学で独自に実施してきましたが、センター試験受験者数の増加に伴い石狩地区の試験会場の集約化が行われました。その結果、本学は北海道医療大学、札幌市

立大学との共同開催となりました。現在、その準備と新型インフルエンザ対策とを併せて行わなければならない状況です。

新たに発足した入学者選抜企画研究部門としては、これらの当面の問題を解決しながら新たな目標に向けて取り組んでいるところです。そのためには、センター内は勿論、全学の協力なくしては、なしうるものではありませんので、今後とも皆様方のご協力をお願い申し上げます。

参考文献

- 1) 札幌医科大学自己点検・評価報告書・札幌医科大学自己点検・評価委員会, 札幌医科大学, 2010.